

## 新総合計画の策定がスタートします！

～新しい策定手法「ふじさわモデル」を全国に発信～

### 1 新総合計画の必要性

「ふじさわ総合計画2020」の策定以降、本市を取り巻く社会環境や経済状況、産業構造や住民意識などが大きく変貌を遂げており、想定しえなかった事態も次々と発生しています。また、社会構造も成長社会から成熟社会への急激な変化が進み、価値観の多様化や社会の複雑化から「新しい地域経営」「新しい公共経営」を構築する時期が到来しています。

これらの状況を踏まえ、本市が目指すべき都市ビジョンや基本理念、施策の体系など、本市の「新しい都市経営システム」を再構築し、「一生住み続けたいまち 湘南藤沢」の実現を図るため、新総合計画（基本構想、基本計画及び実施計画）の策定を行うものです。

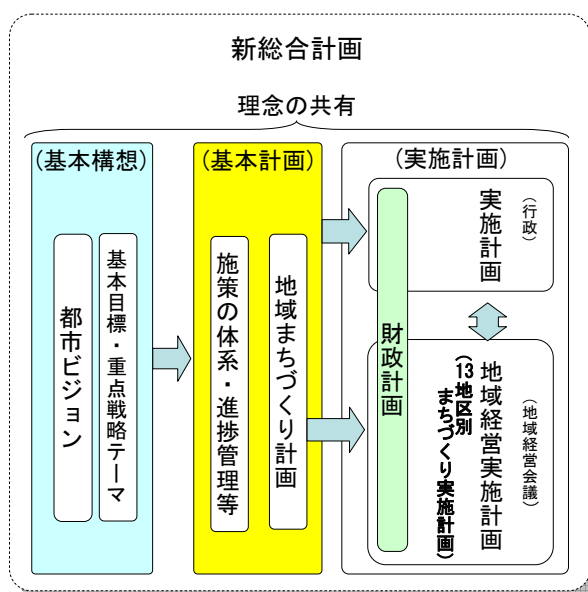
### 2 新総合計画の構成

#### (1) 策定期間

急激な社会の変化に対応し得る「新しい都市経営システム」の具体化として、基本構想、基本計画及び実施計画を2年間（平成21年度～22年度）で策定します。

#### (2) 地域まちづくりとの連携

地域完結型のまちづくりを「地域経営会議」や市民と連携して推進するために、新総合計画の理念・目標などを共有しつつ、各地域の特徴を反映した「地域まちづくり計画」を基本計画へ位置づけるとともに、地域経営会議が主体となって「地域経営実施計画（13地区別まちづくり実施計画）」を策定し、行政が策定する実施計画との分担と協働を進めます。



### 3 新総合計画策定の仕組み

#### (1) 市民と行政等が共有する新総合計画

本市の「新しい都市経営システム」を示した新総合計画を市民と行政等が共有し、まちづくりに親しみと関心を持ってもらうことを前提に、協働のまちづくりを推進していくための計画とします。

#### (2) 総合計画審議会と新たな市民参加の仕組み

##### ア 新総合計画の両輪

「市民力」「地域力」による市民目線でのまちづくりを推進するため、「行政」と「市民」の両輪によって新総合計画づくりを進めていきます。

##### イ 三層構造

「総合計画審議会」と「地域経営戦略100人委員会・地域経営会議」及び「市民1000人討論」の三層構造によって新総合計画づくりを進めていきます。

##### (ア) 総合計画審議会

総合計画審議会は、地域と市民からの意見や提案について、地域経営戦略100人委員

会との合同協議，市民1000人討論，パブリックコメントなどを踏まえ，総合的専門的視点から基本構想及び基本計画を取りまとめます。なお，議論及び答申に当たり，活発な議論が可能な委員数で構成します。（25名以内）

(イ) 地域経営戦略100人委員会・地域経営会議

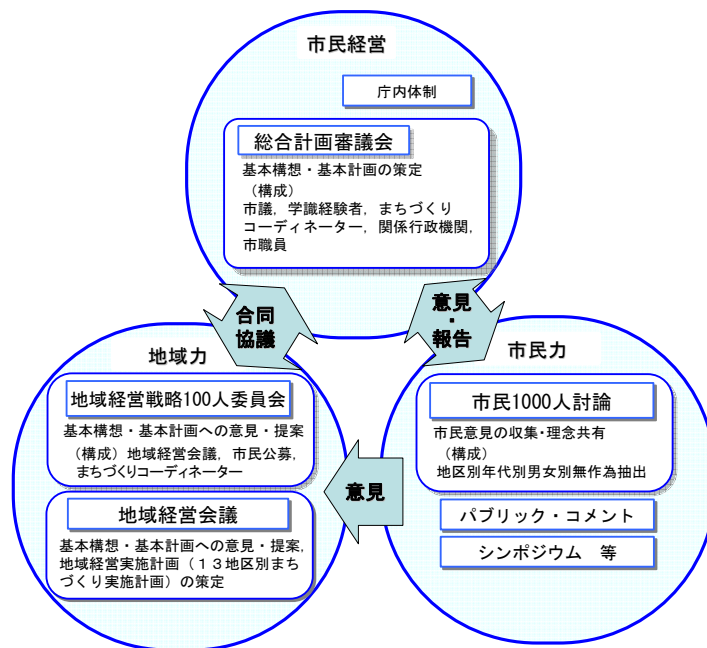
「地域経営戦略100人委員会」は，各地区の地域経営会議からの委員及び子育て・教育，安全・安心，福祉・医療，環境，産業，共生，芸術・文化・スポーツ・地域コミュニティ，地域まちづくり活動の領域などからの市民公募委員により，合計100人以内を選任します。

運営は，まちづくりコーディネーター（5名以内）で担当し，基本構想，基本計画などの意見提案や，総合計画審議会との合同協議により，市民の意見を計画づくりに反映させます。

地域経営会議は，基本構想，基本計画についての議論を深め，地域経営戦略100人委員会に意見・提案を行うとともに，基本構想及び基本計画を踏まえ，地域経営実施計画（13地区別まちづくり実施計画）を策定します。

(ウ) 市民1000人討論（討論型世論調査）

市民の皆様にも市政について関心を持っていただくとともに，より広範囲な市民層の声を新総合計画に反映していくため，地区別年代別男女別に無作為抽出した1000人の市民からの意見収集を行います。



(3) 職員全員参加による計画づくり

職員の全員参加により新総合計画を検討するため，「庁内新総合計画検討会議」と「わいわい・がやがや・わくわく会議」などを設置します。

わいわい・がやがや・わくわく会議では，次世代を担う若手職員を中心に自由闊達な議論を目標とするとともに，市民1000人討論の運営の補助を担当します。

<問合せ先 経営企画部経営企画課 電話番号 (0466) 50-3502 内線2172 >